

月刊監査研究 2008 年 7 月号に「内部監査人による J-SOX 対応 Q&A 集」が掲載されました

CIA フォーラム研究会 No.4-B (ガバナンス研究会 J-SOX 分科会) は、企業が金融商品取引法に基づく財務報告に係る内部統制の評価及び報告制度 (以下「J-SOX」) を通じて企業価値を向上するために、内部監査人としてどのような貢献ができるかという視点から、分科会メンバーの所属企業の取り組みなどを参考に「内部監査人による J-SOX 対応 Q&A 集」を作成し、月刊監査研究 2008 年 7 月号に掲載して頂きました。

本 Q&A 集は、本来内部統制は企業が経営者の責任で自律的に構築するものであり、J-SOX は経営者自らが内部統制の有効性を評価する制度であることから、金融庁が公表した「内部統制報告制度に関する 11 の誤解」に記載されているように、内部統制の整備・評価を「自社のリスクを最も把握している経営者が、主体的に判断すべきとの立場から、主に以下の課題への回答例について取り上げました。

- ① 経営者・一般社員・J-SOX 事務局メンバーからの J-SOX に関する疑問にどのように答えるか
- ② 内部監査部門として J-SOX にどのように関わるべきか
- ③ 効果的・効率的な J-SOX への対応事例とはどのようなものか

なお、本 Q&A 集は分科会執筆メンバーの個人的な見解に基づくものであり、日本内部監査協会並びに CIA フォーラム及びメンバーの所属企業の統一見解ではありません。また、内容の誤りや各企業の状況などにより回答例の適用が適切でない場合があるかも知れませんが、内部監査人の考え方の一例・実例として、読者諸氏の企業価値向上への貢献にお役に立てれば幸いです。

ご参考までに、次頁に質問事項の一覧を添付致します。全文は月刊監査研究 2008 年 7 月号をご覧ください。

(J-SOX 分科会執筆メンバー)

座長 : 山本 邦博

メンバー : 雑賀 吉人、塩見 之郎、高瀬 浩幸、高田 外次、竹内 総夫、辻 英夫、歳納 太郎、
丹羽 珠希、政川 忠志、松元 雅美、宮田 信一郎、矢島 博之、柳瀬 宏司

【質問事項の一覧】

1. J-SOX と内部統制

- Q 1. 「内部統制」とは何ですか？ 会社法における内部統制と J-SOX における内部統制はどこが違うのでしょうか？
- Q 2. J-SOX の発端となった粉飾決算事件は、そもそも経営者の不正が原因となっていますが、全社的な統制及び業務プロセスの文書化によって、経営者不正が防げるのでしょうか？
- Q 3. J-SOX の目的が信頼性のある財務報告の開示ならば、それはそもそも経理部門の仕事ではありませんか？ 忙しい現場を巻き込まずに経理部門だけで対応できないのでしょうか？
- Q 4. 我が社はこれまで有価証券報告書の訂正報告を出したことがないので、J-SOX 対応として特段新しいことをしなくても良いのでしょうか？
- Q 5. 一般社員や PMO のメンバーに余計な仕事が増えたという「やらされ感」がありますが、どのように説得すれば良いのでしょうか？
- Q 6. J-SOX 対応で負担以上の効果が期待できるのでしょうか？ 監査法人による内部統制監査をクリアするための負担に対して、内部統制のレベルアップや内部統制の有効性と効率性の向上による効果をどのように引き出せばよいのでしょうか？
- Q 7. J-SOX 対応の方針として、どのような点に留意すれば良いのでしょうか？

2. 内部監査部門の J-SOX への関わり

- Q 8. 内部監査部門は PMO とどのように関われば良いのでしょうか？
- Q 9. 内部監査部門が J-SOX の独立的評価を実施する場合、J-SOX 体制全般の内部監査をどのように行えば良いのでしょうか？
- Q 10. 内部監査部門が J-SOX の独立的評価を実施する場合、J-SOX の評価結果とその他の内部監査の結果との間に不整合があった時は、どのように対処すれば良いのでしょうか？
- Q 11. 外部監査人から内部監査部門に対して J-SOX のテストなどに関する要請が厳しくなっていますが、どのように対処すれば良いのでしょうか？
- Q 12. 内部監査部門の人員が少ない、または会計に強い内部監査人が少なく、人事の手当てが難しいのですが、どのように対処すれば良いのでしょうか？
- Q 13. J-SOX は内部監査の品質向上に役立つのでしょうか？

3. 業務プロセスの文書化

- Q 14. 既に ISO 文書で業務プロセスのフローチャートがありますが、新たに文書を作成する必要がありますか？
- Q 15. 文書化を行う際に、どのようなことに注意すれば良いのでしょうか？
- Q 16. 業務プロセスの文書化を行う際に、性悪説に基づいて自分の仕事を文書化することに抵抗がありますが？

4. 内部統制の整備・運用状況の評価

- Q 17. 業務担当者として自分が自信を持って行った仕事を、なぜ他人にチェックされなければならないのでしょうか？
- Q 18. なぜ、独立部署による評価と外部監査人の監査という、二重の評価が必要なのでしょう？
- Q 19. 新たに証拠を残す必要がありますか？
- Q 20. 小規模あるいは一人の部署・拠点での承認行為は、どのようにすれば良いのでしょうか？

5. J-SOX、2年目以降の課題

- Q 21. J-SOX 2年目以降の内部統制の構築・評価の体制として、どのようなものが望ましいですか？
- Q 22. J-SOX 2年目以降の評価作業の留意点にはどのようなものがありますか？
- Q 23. 会社法の内部統制システムの評価と金融商品取引法 (J-SOX) の全社的な内部統制評価との関係は、どのように考えたら良いのでしょうか？

以上